

款	衛生費	項	保健衛生費
---	-----	---	-------

事業名	医療機関支援事業（重点支援事業）
-----	------------------

担当	保健福祉部 健康増進課
----	----------------

（単位：千円）

決算額		33,050	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金	24,640	基 本 目 標	6 ふれあいとあたたかさにあふれる福祉のまちづくり
	地 方 債			
	そ の 他		政 策 方 針	3 誰もが安心して暮らすことのできる医療体制・社会保障制度の充実
	一 般 財 源	8,410		

事業の目的

燃料の価格高騰・物価上昇の影響に伴い光熱費等が値上がりしている状況にありながらも、診療報酬等にその費用を価格転嫁できず、負担が増加している医療機関に対し、施設規模に応じた支援金を支給することで、本市の医療提供体制の維持を図ります。

事業の概要

◎支援金の額

- ①診療所（患者を入院させるための施設を有しない診療所）：1医療機関につき10万円
- ②患者を入院させるための施設を有する診療所：1医療機関につき25万円
- ③20人以上200人未満の患者を入院させるための施設を有する病院：1医療機関につき50万円
- ④200人以上の患者を入院させるための施設を有する病院：1医療機関につき200万円
- ⑤歯科（①診療所（患者を入院させるための施設を有しない診療所）に同じ）：1医療機関につき10万円
- ⑥薬局（①診療所（患者を入院させるための施設を有しない診療所）に同じ）：1医療機関につき10万円

[令和5年度分]

（単位：千円）

医療機関の区分	支援金額	機関数	事業費
①診療所（無床）	100	82	8,200
②診療所（有床（1～19床））	250	3	750
③病院（20～199床）	500	4	2,000
④病院（200床～）	2,000	4	8,000
⑤歯科	100	76	7,600
⑥薬局	100	65	6,500
合 計			33,050

事業の成果

燃料の価格高騰・物価上昇により、光熱費等の高騰で負担が生じている市内の医療機関に対して、支援金を支給することにより、負担の軽減及び本市の医療提供体制の維持に寄与しました。

款	衛生費	項	清掃費
---	-----	---	-----

事業名	最終処分場維持管理事業
-----	-------------

担当	市民生活部 清掃センター
----	-----------------

(単位：千円)

決算額		52,119	リーディングプロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金		基 本 目 標	7 未来につなげる環境にやさしいまちづくり
	地 方 債			
	そ の 他		政 策 方 針	3 循環型社会の構築と環境美化・環境衛生の推進
	一 般 財 源	52,119		

事業の目的

最終処分場の適正な維持管理及び運転を行いながら、計画的な埋立量の削減を実施することで、現施設の有効な活用を図ります。

事業の概要

平成12年度の供用開始から計画的に焼却灰及び破碎不燃物等の埋立処理を行うとともに、ごみの減量とリサイクルを推進することで埋立量を削減しながら施設を稼働してきました。

近年、民間による焼却灰の資源化が進んだことから、令和4年度からは、焼却灰の一部について民間リサイクル施設での外部処理を開始しました。



一般廃棄物最終処分場

◎清掃センター焼却灰運搬処理委託

委託先となる民間リサイクル施設を分散することで（令和4年度2箇所→令和5年度3箇所）外部処理のリスクの低減を図るとともに、焼却灰の外部処理量を計画的に増やすことで、一般廃棄物最終処分場の延命化を図りました。

◎最終処分場浸出水送水管更新工事(補正予算)

最終処分場調整槽から水処理施設へ浸出水を送る送水管の閉塞により、水処理量が低下したため送水管（全長約300m）を更新し、水処理施設の安定化及び適正化を図りました。

[令和5年度分]

(単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	清掃センター焼却灰運搬処理委託	46,138
負担金補助及び交付金	環境保全協力金	107
工事請負費	最終処分場浸出水送水管更新工事	5,874
合計		52,119

事業の成果

焼却灰の一部を外部処理（リサイクル量 約1,200トン）することにより、施設の負荷軽減が図られ、周辺環境の保全と循環型社会の形成に寄与しました。

浸出水送水管を更新したことにより、水処理機器運転時間の短縮、安定した水処理の実施を図りました。

款	衛生費	項	清掃費
---	-----	---	-----

事業名	最終処分場埋立地基幹整備事業
-----	----------------

担当	市民生活部 清掃センター
----	-----------------

(単位：千円)

決算額		22,770	リーディングプロジェクト	—
財源内訳	国県支出金		基本目標	7 未来につなげる環境にやさしいまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針	3 循環型社会の構築と環境美化・環境衛生の推進
	一般財源	22,770		

事業の目的	清掃センターで発生する焼却灰等・破砕不燃物を埋立てていくにあたり、正確に埋立処分の進捗度合いを算出し埋立残余容量を把握するとともに、計画的に施設の盛土工事を実施することで埋立容量の確保を図ります。
-------	---

事業の概要

外周部分第二層目の盛土工事及び中間覆土を本市公共工事からの建設発生土にて実施しました。
また、埋立地の測量を行い、法令に基づく残余容量調査を実施しました。

最終処分場上流埋立箇所

[令和5年度分]

(単位：千円)

区分	概要	事業費
需用費	上流部中間覆土購入	0
工事請負費	上流部第二層法面盛土工事	19,690
委託料	埋立地残余容量調査委託	3,080
合計		22,770

事業の成果	外周部分第二層目の盛土工事及び中間覆土を実施したことにより、埋立地の延命化及び廃棄物埋立の適正化を図りました。また、本市公共工事による建設発生土を用いることにより、覆土用、盛土用の購入土が不要となりました。 埋立地残余容量調査を実施し、埋立残余容量を把握したことで、今後の埋立の計画的な実施が可能となりました。
-------	---

款	農林水産業費	項	農業費
---	--------	---	-----

事業名	土浦ブランドアッププロジェクト推進事業	担当	産業経済部 農林水産課
-----	---------------------	----	----------------

(単位：千円)

財 源 内 訳	決算額	716	リーディング プロジェクト	3	暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり
	国県支出金		基 本 目 標	3	「しごと」を核とした活力のあるまちづくり
	地 方 債				
	そ の 他		政 策 方 針	3	多様なニーズに対応する農業の振興
	一 般 財 源	716			

事業の目的

本市は、日本一の生産量を誇るれんこんを始め、米、葉菜、根菜、果実、花き、畜産と多種多様な農業地域となっており、また、霞ヶ浦の水産資源にも恵まれています。この豊富な農林水産物やその加工品をPRすることで、本市のブランド力を底上げし、交流人口の増加及びまちのにぎわい創出に繋がります。

事業の概要

多種多様な農業地域や水産資源が生み出す、豊富な農林畜水産物やその加工品を「土浦ブランド」として認定し、現在は総数で38品目を数えます。認定品をPRすることで、本市のブランド力を底上げし、交流人口の増加及びまちのにぎわい創出に取り組んでいます。



土浦の恵みマーケット

◎ブランド認定品販売会

土浦ブランド認定品の知名度アップを目的として、ブランド認定品販売会を市内で開催されるイベントとタイアップするなど、本市の気候、風土、歴史、自然が感じられる逸品をPRしました。

[令和5年度分]

(単位：千円)

区分	概要	事業費
報償費	協議会開催費	147
需用費	消耗品等、パンフレット増刷費	443
役務費	出店時衛生手数料	8
使用料及び賃借料	施設使用料	118
合計		716



認定パンフレットと
レシピブック

事業の成果

県内外の参加者が集うイベントにおいてブランド認定品の販売会を開催することにより、「土浦ブランド」や本市の魅力を広くPRすることができました。

また、認定品パンフレットの刷新及びレシピブックの増刷により、多くの方の目に留まるよう「土浦ブランド」を紹介することで、認知度を高め、ブランド力を底上げし、交流人口の増加及びまちのにぎわい創出を図りました。

款	農林水産業費	項	農業費
---	--------	---	-----

事業名	日本一のれんこん産地推進事業	担当	産業経済部 農林水産課
-----	----------------	----	----------------

(単位：千円)

財 源 内 訳	決算額	5,186	リーディング プロジェクト	3	暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり
	国県支出金		基 本 目 標	3	「しごと」を核とした活力のあるまちづくり
	地 方 債				
	そ の 他		政 策 方 針	3	多様なニーズに対応する農業の振興
	一 般 財 源	5,186			

事業の目的

生産量日本一を誇る本市の特産物である「れんこん」について、PRや販売促進、消費拡大、品質向上など、さまざまな観点からアプローチを行い、「れんこん」に特化した多様な取組を進めることで、「日本一のれんこん産地」としての地位確立を図ります。

事業の概要

令和4年度に「日本一のれんこん担当」を設置し、生産者や関係機関等との連携により、販売促進やPR活動を実施してきました。

令和5年度については、長距離トラックラッピングや路線バス広告掲出、れんこん焼酎「土浦恋婚」の企画開発、キューピー株式会社との連携によるれんこんサラダ普及の取組、病害虫防除対策等を実施しました。さらに市内外のイベントでの積極的なPR活動も継続して行うことで、「日本一のれんこん産地」の知名度向上及び、本市産れんこんの販売促進、消費拡大を図りました。



長距離トラックラッピング



県外PRの様子

[令和5年度分]

(単位：千円)

区分	概要	事業費
報償費	料理教室講師謝礼等	90
旅費	県外でのPR	12
需用費	PRグッズ、チラシ作成、学校給食へのれんこん提供	1,179
役務費	路線バス広告料、病害虫対策郵送代、れんこん焼酎商標登録手数料	2,695
委託料	トラックラッピング施工、デザイン作成委託料	1,210
合計		5,186



学校給食献立メニュー
(焼きれんこんのホットサラダ)

事業の成果

特産物である「れんこん」について、「地域の宝」として広くPRし、市内外の多くの方に周知することで、農産物としての付加価値向上や農業経営安定化、地域農業振興に寄与しました。また、加工品開発や料理教室、れんこんサラダの普及の取組などにより、食材としての新たな魅力を発信することで、「日本一のれんこん産地」としての地位確立を図りました。

款	農林水産業費	項	農業費
---	--------	---	-----

事業名	かんがい排水事業（木田余地区）
-----	-----------------

担当	産業経済部 農林水産課
----	----------------

（単位：千円）

決算額		7,200	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金		基 本 目 標	3 「しごと」を核とした活力のあるまちづくり
	地 方 債	5,400		
	そ の 他		政 策 方 針	3 多様なニーズに対応する農業の振興
	一 般 財 源	1,800		

事業の目的

木田余地区においてパイプラインと排水路等を整備し、用水としての機能を回復させることにより営農効率を高め、農業経営の安定を図ります。

事業の概要

◎これまでの経緯

当該地区の用水は、境川から取水し用水路を通じて各蓮田に供給していますが、末端の蓮田まで十分に行き渡らない状況であり、その解消を図るため、パイプラインと排水路等の整備に向けて、茨城県が主体となり、事業計画調査や計画書作成等を進めてきました。

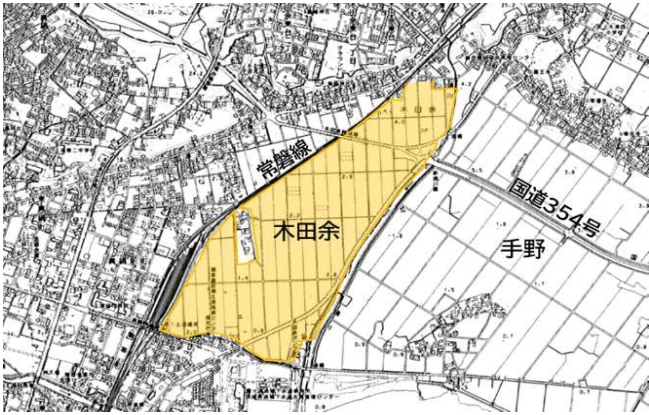
◎事業概要

- ・事業主体 茨城県
- ・事業内容 パイプライン整備、排水路整備等
- ・事業期間 令和5年度～令和9年度

◎令和5年度実施事業

測量試験、実施設計等

- ・土浦市事業負担金 7,200千円



事業の成果

令和5年度は、施行申請に対する計画確定がなされたため、測量試験、実施設計等を実施しました。今後は、パイプラインと排水路等の整備工事を進め、令和9年度の竣工を目指します。

款	商工費	項	商工費
---	-----	---	-----

事業名	土浦全国花火競技大会開催事業
-----	----------------

担当	産業経済部 商工観光課
----	----------------

(単位：千円)

決算額		84,297	リーディングプロジェクト	2 未来につなげる「地域の宝」を生かしたまちづくり
財源内訳	国県支出金		基本目標	2 未来につなげる魅力あるまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針	1 地域の魅力を生かした観光のまちづくり
	一般財源	84,297		

事業の目的

本市が誇る土浦全国花火競技大会の一層の充実を図り、煙火技術の向上に貢献するとともに、花火のまち「土浦」であることを全国に発信して、本市のイメージアップと観光による交流人口の拡大を図ります。

事業の概要

◎第92回土浦全国花火競技大会

- (1) 日時 令和5年11月4日（土）競技開始：午後5時30分、競技終了：午後8時08分
- (2) 場所 桜川畔（学園大橋付近）
- (3) 観客数 約60万人（前回（第91回）約45万人）
- (4) 競技内容 スターマインの部：22台、10号玉の部：45発、創造花火の部：22組 計89作品
- (5) 余興花火 ワイドスターマイン「土浦花火づくし」、エンディング花火、広告仕掛花火等

[令和5年度分]

(単位：千円)

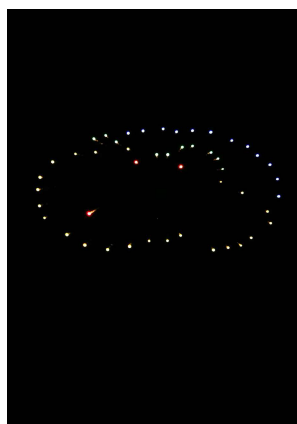
区分	概要	事業費
補助金	花火大会事業補助金	84,297



スターマインの部優勝
(有) 菊屋小幡花火店



10号玉の部優勝
(株) 山崎煙火製造所



創造花火の部優勝
(株) 北日本花火興業



ワイドスターマイン
「土浦花火づくし」

事業の成果

新型コロナの位置づけが、2類相当から5類に変更となり、久方ぶりに行動制限がなくなった今大会は、天候及び風向きともに絶好のコンディションのもとで競技花火や余興花火を打ち上げ、全国各地から集まった約60万人の観客でにぎわいました。

大勢の観客が訪れたことで、大きな経済効果を生むとともに、全国から注目される花火大会を開催することにより、本市のイメージアップが図られました。

款	土木費	項	道路橋梁費
---	-----	---	-------

事業名	橋梁耐震対策・長寿命化修繕事業
-----	-----------------

担当	建設部 道路建設課
----	--------------

(単位：千円)

決算額		595,683	リーディングプロジェクト	4	安心な市民生活を支える災害に強いまちづくり
財 源 内 訳	国県支出金	234,972	基 本 目 標	4	全ての市民が安心して暮らせるまちづくり
	地 方 債	167,900			
	そ の 他		政 策 方 針	1	時代の変化に対応した防災のまちづくり
	一 般 財 源	192,811			

事業の目的

橋梁の耐震性の向上を図り、災害時における緊急輸送道路等を確保するとともに、長寿命化修繕計画に基づき、計画的かつ予防的な修繕を行うことで道路交通の安全性を確保します。

事業の概要

計画的に橋梁の耐震補強及び予防的な修繕を実施することにより、道路交通の安全性と信頼を将来にわたり確保するとともに、予算の平準化を図りました。

[令和4年度からの繰越分]

(単位：千円)

区分	概要	事業費
役務費	不動産鑑定	209
委託料	架替工事委託、耐震・長寿命化詳細設計	25,637
工事請負費	耐震・長寿命化工事	65,215
合計		91,061



常磐線3号橋（二番橋）
（橋梁架替工事）

[令和5年度分]

(単位：千円)

区分	概要	事業費
需用費	常磐線3号橋（二番橋）街路灯電気代	3
委託料	架替工事委託、耐震・長寿命化詳細設計、 長寿命化修繕計画策定	399,286
使用料及び賃借料	作業ヤード用地	3,522
工事請負費	耐震・長寿命化工事	101,811
合計		504,622



東真鍋1号橋（木田余立体橋）
（耐震・長寿命化工事）

[令和6年度への繰越分]

(単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	架替工事委託、耐震・長寿命化詳細設計	82,665
工事請負費	耐震・長寿命化工事	42,289
合計		124,954

事業の成果

橋梁の耐震性を向上させ、地震災害時における緊急輸送道路等の通行確保を図るとともに、老朽化が進んだ橋梁を計画的に修繕し、利用者の安心・安全を図るため、橋梁の耐震・長寿命化工事を6橋、設計委託を5橋実施しました。

款	土木費	項	道路橋梁費
---	-----	---	-------

事業名	道路新設改良事業
-----	----------

担当	建設部 道路建設課
----	--------------

(単位：千円)

決算額		419,974	リーディングプロジェクト	—
財源内訳	国県支出金	72,029	基本目標	8 効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地方債	257,000		
	その他		政策方針	2 魅力的な都市環境・住環境の創出
	一般財源	90,945		

事業の目的

幹線道路（Ⅰ級幹線、Ⅱ級幹線）の拡幅改良工事、歩道整備や生活道路・狭隘な市道の拡幅工事、舗装工事、交通安全施設工事等を計画的に進めることにより、道路機能の向上と市全体の道路網確立を図ります。

事業の概要

日常生活の利便性向上及び地域環境改善のため、次の工事を実施しました。

- ① 市道新治Ⅱ級9号線 L= 190 m W= 5.0 m
- ② 市道Ⅰ級5号線 L= 200 m W= 5.5～6.0 m
- ③ 市道今泉23・28号線 L= 146 m W= 4.5～5.0 m
- 外 19件 L= 1,221 m W= 4.0～6.0 m

[令和4年度からの繰越分]

(単位：千円)

区分	概要		事業費
測量、設計委託費	6件	延長 1,730m	23,362
舗装、改良、排水工事費	17件	延長 1,603m	192,031
用地取得費	6路線	面積 486㎡	2,996
物件移転補償費	立木、工作物、電柱移設費等		9,572
合計			227,961



整備前

[令和5年度分]

(単位：千円)

区分	概要		事業費
測量、設計委託費	10件	延長 1,855m	30,879
舗装、改良、排水工事費	5件	延長 154m	92,707
交通安全施設工事費	区画線、路面標示等		3,025
用地取得費	11路線	面積 1,224㎡	16,152
物件移転補償費	立木、工作物、電柱移設費等		35,857
役務費	鑑定料、登記料		11,976
事務費等			1,417
合計			192,013



整備後

市道Ⅰ級5号線 整備状況

[令和6年度への繰越分]

(単位：千円)

区分	概要		事業費
測量、設計委託費	4件	延長 1,040m	18,094
舗装、改良、排水工事費	10件	延長 1,063m	167,193
用地取得費	2路線	面積 100㎡	678
物件移転補償費	立木、工作物、電柱移設費等		18,359
合計			204,324

事業の成果

幹線道路（Ⅰ級幹線、Ⅱ級幹線）の拡幅改良工事、生活道路・狭隘な市道の拡幅改良工事、舗装工事及び交通安全施設工事を計画的に進めることにより、日常生活の利便性向上と地域環境の改善、さらには歩行者及び自転車通行の安全確保に寄与しました。

款	土木費	項	河川費
---	-----	---	-----

事業名	都市下水路整備事業／小規模排水路整備事業
-----	----------------------

担当	建設部 下水道課
----	-------------

(単位：千円)

決算額		79,177	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金	39,794	基 本 目 標	4 全ての市民が安心して暮らせるまちづくり
	地 方 債	15,900		
	そ の 他		政 策 方 針	5 激甚化する水害に対応するまちづくり
	一 般 財 源	23,483		

事業の目的	都市下水路や小規模排水路を計画的に整備することにより、雨水を速やかに排除し、豪雨による道路冠水等を解消するとともに、生活環境の改善を図ります。
-------	---

事業の概要

豪雨による道路冠水等を解消するため、雨水を速やかに排除する下水道施設の整備工事等を実施しました。なお、都市下水路整備事業については、国から交付される特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用しています。

◎都市下水路整備事業

- 西根竹の入都市下水路施設整備工事 U2,000mm×1,400mm L=59.6m

※特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用

◎小規模排水路整備事業

- 虫掛地内小規模排水路施設整備工事 L=108.0m

[令和4年度からの繰越分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
小規模排水路整備費	工事1件	24,195

[令和5年度分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
都市下水路整備費	工事1件、委託1件	45,584
小規模排水路整備費	工事1件、家屋調査	9,398
合 計		54,982

[令和6年度への繰越分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
小規模排水路整備費	工事1件、補償費等	14,412

西根竹の入都市下水路

虫掛小規模排水路

事業の成果	都市下水路施設及び小規模排水路施設の整備を行い、大雨による浸水被害の減少を図りました。今後も計画的に雨水を速やかに排除する下水道施設の整備等を行うことにより、市民の生活環境の向上に寄与します。
-------	--

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	地域公共交通確保維持改善事業	担当	都市政策部 都市計画課
-----	----------------	----	----------------

(単位：千円)

決算額		59,802	リーディングプロジェクト	3	暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり
財源内訳	国県支出金		基本目標	8	効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地方債				
	その他		政策方針	2	魅力的な都市環境・住環境の創出
	一般財源	59,802			

事業の目的

地域公共交通計画に基づき、「利用者が地区特性に応じた公共交通で快適に移動できるまち」の実現に向けた取り組みを推進します。

事業の概要

事業の目的を達成するため、土浦市地域公共交通計画に基づき、各種交通施策を実施しました。

◎計画区域 本市全域

◎計画期間 令和4年度～令和8年度（土浦市地域公共交通計画）

◎令和5年度の主な事業内容

- ①公共交通PR事業（公共交通マップの作成等）
- ②地域公共交通計画に位置付けたコミュニティ交通導入促進地域における、コミュニティ交通「つちまるバス」の新規導入及び利用促進
- ③つちうらMaaSの実証実験への参画
- ④路線バスの運行に係る支援
- ⑤地域、事業者、関係団体等との協働による公共交通ネットワークの確保・維持・改善等

ほか



つちまるバス



グリーンスローモビリティ
(つちうらMaaS)

[令和5年度分]

(単位：千円)

概要	事業費
協議会負担金（地域公共交通確保維持改善事業、公共交通PR事業等）	34,167
新たな公共交通導入に関する市民意向調査費用	11
バス運行対策費負担金（地域幹線系統への県との協調補助）	3,548
つちうらMaaS推進協議会負担金	18,492
霞ヶ浦広域バス・千代田神立ライン運行補助金	3,359
三輪自転車購入補助金	225
合計	59,802

事業の成果

中村南・西根南地区（令和3年度導入）、右舳地区（令和4年度導入）のつちまるバスの運行を継続し、公共交通不便地域の解消に寄与しました。しかし、令和5年度に導入予定だった乙戸南周辺地区は、2024年問題により運転手の確保ができず、運行に至りませんでした。一方、三輪自転車購入補助により、日常生活における安全な移動手段の確保に寄与しました。このほか、路線の維持が困難なバス路線に対し、県や沿線自治体との協調補助を行うことにより、公共交通の維持を図るとともに、つちうらMaaS推進協議会に参画し、神立駅西口地区等を循環する新モビリティの実証実験等を通して地域内外の活性化に寄与しました。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	都市計画マスタープラン策定（見直し）事業／ 立地適正化計画策定（見直し）事業
-----	---

担当	都市政策部 都市計画課
----	----------------

（単位：千円）

決算額		12,435	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金	1,500	基 本 目 標	8 効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地 方 債			
	そ の 他		政 策 方 針	3 時代の変化に応じた持続可能な都市の形成
	一 般 財 源	10,935		

事業の目的

都市計画マスタープランの計画期間20年（平成26年度～令和15年度）の中間期、及び立地適正化計画（平成29年度～令和15年度）の概ね5年毎の見直し時期に当たり、両計画の整合を図るとともに、上位計画の改定や社会経済情勢等の変化に対応するため、将来の都市像、都市づくりの目標を明示し、総合的な都市づくりの基本方針を示します。

事業の概要

令和4～5年度の2カ年をかけて「土浦市都市計画マスタープラン」及び「土浦市立地適正化計画」の見直しを進め、令和5年度に両計画を策定しました。

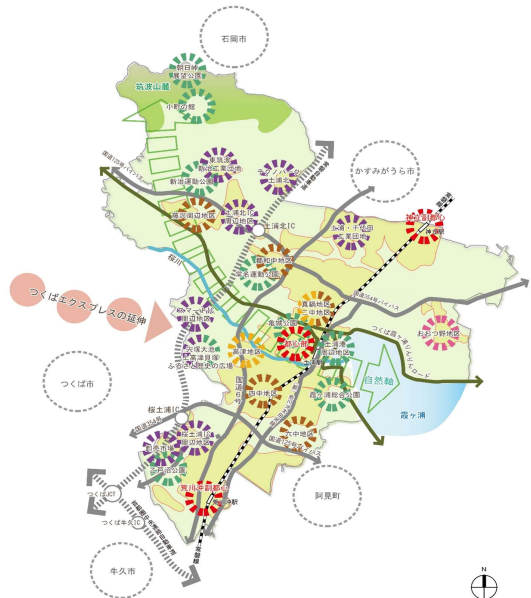
まちづくりアンケート、住民意見交換会及びパブリック・コメント等を実施するとともに、都市画審議会での協議を経て、住民の方々の意見を広く伺いながら見直しを行いました。

◎都市計画マスタープラン

総合計画に位置づけられる施策のうち、都市施策の分野を受け持つ計画

◎立地適正化計画

持続可能な都市構造への再構築を目指し、人口減少社会に対応したコンパクトシティを実現するための計画



将来都市構造図（土浦市都市計画マスタープラン）

[令和5年度分]

（単位：千円）

区分	概要	事業費
報酬	都市計画審議会運営費、会計年度任用職員報酬	644
報償費	都市計画審議会運営費	15
旅費	会計年度任用職員用通勤手当	12
委託料	計画策定（見直し）委託料	11,669
使用料及び賃借料	会計年度任用職員用PC使用料	95
合計		12,435

事業の成果

新しい時代に向けた本市の都市づくりの基本的方針である都市計画マスタープラン及び都市の活力と市民の利便性が維持された、いつまでも暮らしやすいまちの実現を目指す計画である立地適正化計画を策定し、将来の持続可能なまちづくりの方針を示しました。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	スマートインターチェンジ整備事業
-----	------------------

担当	都市政策部 都市計画課
----	----------------

(単位：千円)

決算額		27,203	リーディングプロジェクト	3	暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり
財源内訳	国県支出金		基本目標	8	効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地方債				
	その他		政策方針	2	魅力的な都市環境・住環境の創出
	一般財源	27,203			

事業の目的

スマートインターチェンジは、地域生活の充実や地域経済活性化が期待できることから、整備に向けた準備を行います。

事業の概要

スマートインターチェンジは、地域生活の充実や地域経済活性化が期待できることから、整備に向けた準備を進めました。

◎スマートインターチェンジ（スマートIC）とは

高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリア、バスストップから乗り降りができるように設置されるインターチェンジ（IC）であり、通行可能な車両（料金の支払い方法）をETCを搭載した車両に限定しているインターチェンジです。利用車両が限定されているため、簡易な料金所の設置で済み、料金徴収員が不要なため、従来のICに比べて低コストで導入できるなどのメリットがあります。

◎事業期間：令和2年度～

[令和4年度からの繰越分]

(単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	・スマートインターチェンジ設置検討調査委託料	20,823
合計		20,823

[令和5年度分]

(単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	・スマートインターチェンジ設置検討調査委託料 ・地質調査委託料	6,380
合計		6,380

[令和6年度への繰越分]

(単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	・スマートインターチェンジ設置検討調査委託料 ・地質調査委託料	33,273
合計		33,273

事業の成果

令和5年度は、国の準備段階調査箇所を選定され、その後準備会を開催（3回）し、事業の進捗を図ることができました。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	歴史的風致維持向上計画推進事業	担当	都市政策部 都市計画課
-----	-----------------	----	----------------

(単位：千円)

財 源 内 訳	決算額	3,705	リーディング プロジェクト	2 未来につなげる「地域の宝」を生かしたまちづくり
	国県支出金		基 本 目 標	2 未来につなげる魅力あるまちづくり
	地 方 債			
	そ の 他		政 策 方 針	3 歴史・芸術・文化のあふれるうるおいあるまちづくり
	一 般 財 源	3,705		

事業の目的

歴史的風致維持向上計画を策定し、国の支援等を活用しながら計画に位置付けた措置を講ずることにより、本市における固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動と、その活動が行われる歴史上価値の高い建造物及びその周辺の市街地とが一体となって形成してきた、良好な市街地環境（歴史的風致）の維持及び向上を図ります。

事業の概要

令和4～5年度の2カ年をかけて「土浦市歴史的風致維持向上計画」を策定し、令和5年度に国からの認定を受けました。

◎計画区域 本市全域

◎計画期間 令和6年度～令和15年度

◎計画内容

- ①歴史的風致形成の背景
- ②維持向上すべき歴史的風致
- ③歴史的風致の維持及び向上に関する方針
- ④重点区域の位置及び区域
- ⑤文化財の保存又は活用に関する事項
- ⑥歴史的風致維持向上施設の整備又は管理に関する事項
- ⑦歴史的風致形成建造物の指定の方針
- ⑧歴史的風致形成建造物の管理の指針となるべき事項

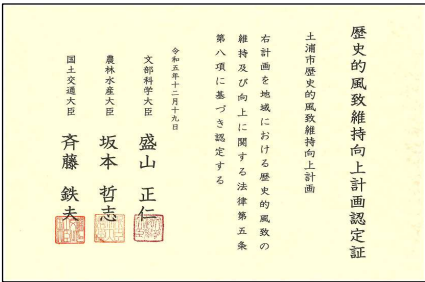
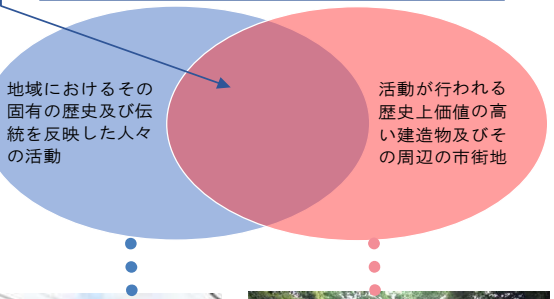
[令和5年度分]

(単位：千円)

区分	概要	事業費
報償費等	協議会運営等（委員報酬等）	149
委託料	計画策定委託料	3,556
合計		3,705

歴史的風致

歴史上重要な建造物及び周辺の市街地と人々の営みが一体となって形成された良好な市街地の環境



認定証



活動：八坂神社祇園祭



建造物：八坂神社拝殿

歴史的風致のイメージ

事業の成果

令和5年度は、本計画の作成に当たり、土浦市歴史的風致維持向上計画推進協議会を2回開催するとともに、パブリック・コメントを実施しました。これらの結果を踏まえ、歴史的風致の維持及び向上に寄与する本計画を策定し、令和5年12月には主務大臣（文部科学大臣、農林水産大臣、国土交通大臣）の認定を受けることができました。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	地域公共交通関連事業者運行継続緊急支援事業（重点支援事業）
-----	-------------------------------

担当	都市政策部 都市計画課
----	----------------

（単位：千円）

決算額		15,985	リーディングプロジェクト	3	暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり
財 源 内 訳	国県支出金	12,197	基 本 目 標	8	効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地 方 債				
	そ の 他		政 策 方 針	2	魅力的な都市環境・住環境の創出
	一 般 財 源	3,788			

事業の目的

エネルギー価格等の物価高騰の影響を受ける中、市民の重要な移動手段である公共交通等の運行継続に努めている事業者に対し、補助金を交付することで事業継続の支援をする。

事業の概要

◎事業内容

土浦市地域交通関連事業者運行継続緊急補助金

令和5年度の重点支援地方交付金を活用し、市民の移動手段を確保・維持するため運行を継続している以下の地域交通関連事業者に対して、車両保有台数に応じた補助金を交付しました。

[対象事業者及び交付額]

区分	乗合バス	貸切バス	タクシー 乗合タクシー	運転代行業
対象	市内に本社または支店がある事業者	市内に本社がある事業者	市内に本社がある事業者	市内に本社がある事業者
交付額	75千円／台	50千円／台	25千円／台	20千円／台

◎実績

[令和5年度分]

（単位：千円）

区分	内訳	事業費
地域交通関連事業者運行継続緊急補助金	乗合バス事業者3社（107台）	8,025
	貸切バス事業者6社（40台）	2,000
	タクシー事業者19社（204台）	5,100
	運転代行事業者15社（43台）	860
合計		15,985

事業の成果

市民の重要な移動手段である公共交通等の運行継続に努めている事業者へ補助金を交付することで、バス路線等の公共交通の維持に寄与しました。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	神立駅西口地区土地区画整理事業	担当	都市政策部 都市整備課
-----	-----------------	----	----------------

(単位：千円)

決算額		210,282	リーディング プロジェクト	3	暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり
財 源 内 訳	国県支出金		基 本 目 標	8	効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地 方 債				
	そ の 他		政 策 方 針	3	時代の変化に応じた持続可能な都市の形成
	一 般 財 源	210,282			

事業の目的	神立駅周辺地区において、隣接するかすみがうら市と一部事務組合を設立し、土地区画整理事業により神立駅西口駅前広場及び都市計画道路神立停車場線等の都市基盤を一体的に整備し、質の高い市街地の形成を推進します。
-------	--

事業の概要	神立駅西口地区において、西口駅前広場、アクセス道路の神立停車場線等の都市施設を土地区画整理事業により一体的に整備し、駅前にふさわしい市街地の形成を図りました。 なお、事業完了に伴い、令和6年3月末に一部事務組合は解散となりました。 - 地区面積：2.2ha（土浦市 1.3ha、かすみがうら市 0.9ha） - 施行期間：平成24年度～令和5年度 - 都市施設概要： 都市計画道路神立停車場線 W=22m、L=23m （西口駅前広場 約4,800㎡を含む。） 都市計画道路神立駅前西通り線 W=15m、L=210m - 総事業費：56.3億円  神立駅西口駅前広場（整備前）  神立駅西口駅前広場（整備後）
-------	--

[令和5年度分] (単位：千円)		
区分	概要	事業費
負担金	建物等移転補償費、 公共施設整備工事等	17,667
	現場事務所諸経費	2,754
	派遣職員人件費	22,571
	剰余金	37,318
	清算負担金	129,972
合計		210,282

事業の成果	令和5年度は、前年度から継続して西口駅前広場など公共施設整備工事を施工し、11月に神立駅西口駅前広場が全面供用開始され、事業完了となりました。西口駅前広場の完成により、利用者の安全が確保されるなど、駅前の交通環境について利便性の向上が図られました。
-------	---

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	インターチェンジ周辺地区土地利用促進事業
-----	----------------------

担当	都市政策部 都市整備課
----	----------------

(単位：千円)

決算額		40,518	リーディングプロジェクト	3	暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり
財源内訳	国県支出金	9,800	基本目標	8	効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地方債				
	その他		政策方針	3	時代の変化に応じた持続可能な都市の形成
	一般財源	30,718			

事業の目的

インターチェンジ周辺地区を、広域交通ネットワークを活かした産業発展を促す拠点として適切な土地利用の誘導を行うことにより、民間事業所等の立地促進を図ります。

事業の概要

新たな産業系土地利用の可能性が見込まれる候補地の検討を行い、民間開発事業者視点での産業系土地利用の可能性及び事業実施に向けた条件を把握し、桜土浦インターチェンジ周辺地区で事業化の検討を進めています。

◎実施内容

- ・地権者組織である発起人会が立ち上がり、土地区画整理組合の前身組織となる準備委員会の設立に向けて、先進地視察や勉強会を開催しました。
- ・地区内の現況測量を実施し、概略土地利用計画や概算資金計画を作成しました。
- ・地権者説明会を開催し、概略土地利用計画や概算資金計画を説明した上で、準備委員会を設立するための仮同意取得を進めました。

[令和4年度からの繰越分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	事業化検討調査委託料	37,402
合計		37,402

[令和5年度分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
報酬等	会計年度任用職員報酬等	2,883
旅費	旅費	57
需用費	消耗品、車両燃料費、飲物代	43
使用料	パソコン使用料	133
合計		3,116

[令和6年度への繰越分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	地質調査委託料	25,795
合計		25,795



事業化検討エリア

事業の成果

物価上昇等により厳しい概算資金計画となりましたが、発起人会とともに合意形成を進め、仮同意の取得状況が9割を超える見込みとなりました。今後は、準備委員会の設立に向けて、発起人会と協議を進めていきます。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	田村沖宿線延伸道路整備事業	担当	建設部 道路建設課
-----	---------------	----	--------------

(単位：千円)

決算額		146,904	リーディングプロジェクト	3	暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり
財源内訳	国県支出金	46,459	基本目標	8	効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地方債	32,800			
	その他	14,390	政策方針	2	魅力的な都市環境・住環境の創出
	一般財源	53,255			

事業の目的	国道354号おおつ野団地入口交差点から神立駅東地区方面の区間を整備することで、南北方向の道路網強化を図るとともに、近隣の学校への通学路として、児童・生徒の安全を確保します。
-------	---

事業の概要

国道354号おおつ野団地入口交差点から神立駅東地区方面の区間を整備し、南北方向の道路網強化及び近隣の学校へ通学する児童・生徒の通学路の安全の確保を図りました。

事業延長 L=2,900m（Ⅰ期：2,000m、Ⅱ期：900m）

幅員 W=14.0／6.0m（歩道2.5m×両側）

[令和4年度からの繰越分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	修正設計	3,498
工事請負費	道路改良工事	24,207
補償補填及び賠償金	物件補償、電柱移設	9,637
合計		37,342

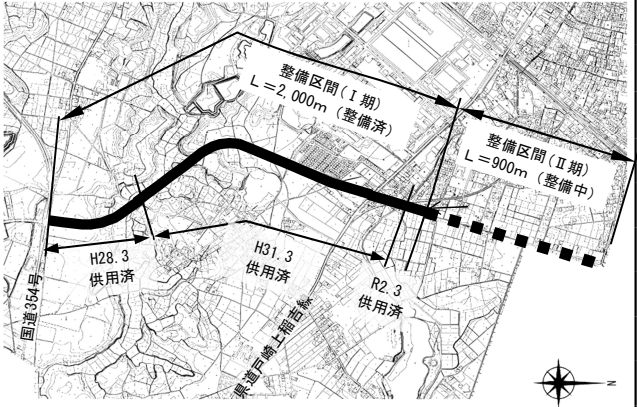
[令和5年度分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
需用費	事務費	11
工事請負費	道路改良工事	106,944
補償補填及び賠償金	電柱移設	2,607
合計		109,562

[令和6年度への繰越分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
工事請負費	道路改良工事	53,173
合計		53,173

位置図



位置図

事業の成果	神立駅東部地区及び隣接するかすみがうら市とおおつ野地内の円滑な交通体系が構築され、総合病院へのアクセス向上が図られます。また、歩行者・自転車の安全な通行帯が確保されます。
-------	--

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	荒川沖木田余線（Ⅱ期）整備事業	担当	建設部 道路建設課
-----	-----------------	----	--------------

(単位：千円)

決算額		126,335	リーディングプロジェクト	3	暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり
財源内訳	国県支出金	45,928	基本目標	8	効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地方債	53,500			
	その他		政策方針	2	魅力的な都市環境・住環境の創出
	一般財源	26,907			

事業の目的	
県道土浦港線（県事業区間除く）から都市計画道路真鍋神林線までの3車線区間（Ⅱ期：L＝630m）を4車線化することにより、道路ネットワークの強化及び交通渋滞緩和を図ります。	

事業の概要

県道土浦港線の県事業区間から都市計画道路真鍋神林線までの3車線区間を4車線化するための工事を行いました。

事業延長 L=630m

幅員 W=25.0/13.0m（歩道3.0m×両側）

[令和4年度からの繰越分]（単位：千円）

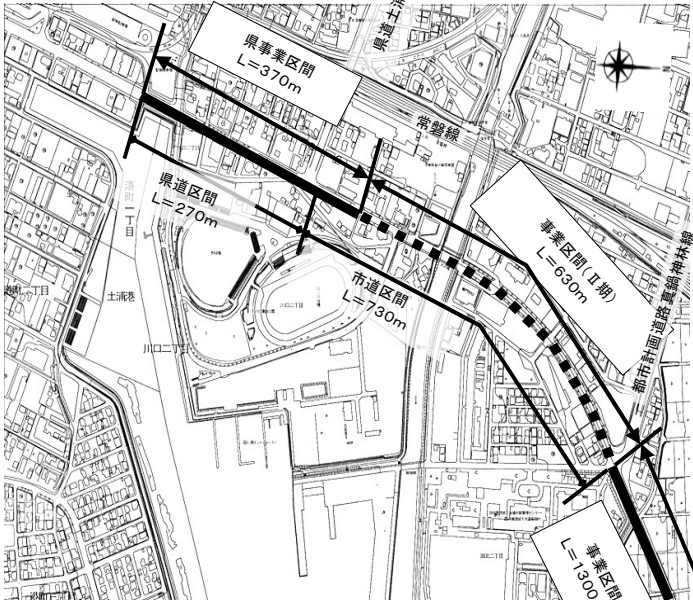
区分	概要	事業費
役務費	補償費算定	18,268
委託料	用地測量	16,750
合計		35,018

[令和5年度分]（単位：千円）

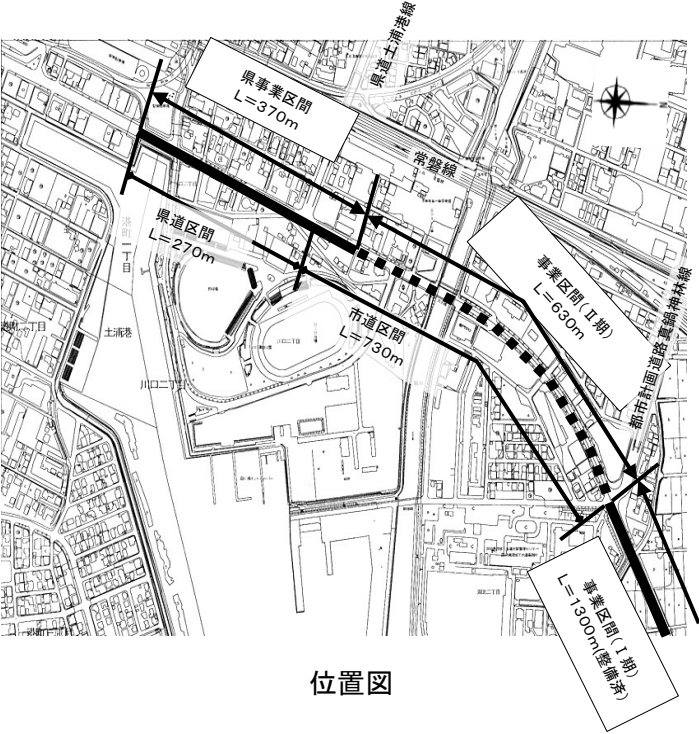
区分	概要	事業費
役務費	補償費算定	20,361
工事請負費	付帯工事	495
公有財産購入費	用地買収	1,613
補償補填及び賠償金	物件補償	68,848
合計		91,317

[令和6年度への繰越分]（単位：千円）

区分	概要	事業費
役務費	補償費算定	29,529
公有財産購入費	用地買収	46,387
補償補填及び賠償金	物件補償	255,152
合計		331,068



位置図



位置図

事業の成果	
当該区間の4車線化により道路ネットワークが強化され、物流・防災機能の向上が期待されるとともに、市街地における交通渋滞の緩和及び安全性の向上を図りました。	

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	都市公園等長寿命化事業
-----	-------------

担当	都市政策部 公園・施設管理課
----	-------------------

(単位：千円)

決算額		43,780	リーディングプロジェクト	3	暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり
財源内訳	国県支出金	20,790	基本目標	8	効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地方債	18,700			
	その他		政策方針	2	魅力的な都市環境・住環境の創出
	一般財源	4,290			

事業の目的

都市における生活環境を改善し、緑豊かで安全・快適な都市環境を創造する等、良好な都市基盤を形成します。

事業の概要

令和4年度に実施した設計に基づき、乙戸沼公園の大型複合遊具の更新工事を実施しました。
また、遊具の更新に当たっては、ユニバーサルデザインやインクルーシブの考え方を取り入れた遊具へ更新しました。

[令和5年度分]

(単位：千円)

区分	概要	事業費
工事請負費	乙戸沼公園遊具更新工事	43,780



更新した大型複合遊具

事業の成果

都市公園等の老朽化が顕在化している施設の改修等により、利便性・安全性の向上と、快適でうるおいのある都市空間の形成に寄与しました。
また、遊具更新工事により、公園の利用促進及びにぎわい創出が図られました。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	中心市街地活性化基本計画管理運営事業	担当	都市政策部 都市整備課
-----	--------------------	----	----------------

(単位：千円)

決算額		6,050	リーディングプロジェクト	—
財源内訳	国県支出金		基本目標	3 「しごと」を核とした活力のあるまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針	1 中心市街地のにぎわいと活力の創出
	一般財源	6,050		

事業の目的	第二期中心市街地活性化基本計画（計画期間：令和元年度～令和5年度）（以下、二期計画）における目標達成に向けた課題の整理を行い、第三期土浦市中心市街地活性化基本計画（以下、三期計画）を策定し、各種事業に総合的かつ一体的に取り組むことで、中心市街地の魅力向上とにぎわい創出を図ります。
-------	---

事業の概要

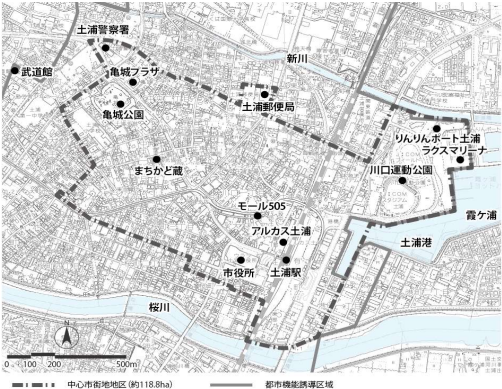
平成31年に内閣総理大臣より認定を受けた二期計画が計画期間終了を迎えることから、二期計画の成果と残された課題を整理し、継続的な中心市街地活性化の取組を進めるため、三期計画を策定し、内閣総理大臣の認定を受けました。

◎三期計画概要

- 計画期間：令和6年4月～令和11年3月
- 認定日：令和6年3月26日

[令和5年度分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
報償費	計画策定委員謝礼等	263
委託料	・ 中心市街地活性化基本計画策定委託料 ・ 歩行者及び自転車交通量調査委託料	5,764
事務費	内閣府ヒアリング時旅費等	23
合計		6,050



中心市街地エリア図

月日	会議名	内容
5月23日（火）	第1回策定委員会	・ 二期計画の進捗状況について ・ 三期計画の策定について
7月11日（火）	第2回策定委員会	・ 三期計画の方針について ・ 活性化の目標と推進事業について
8月3日（木）	第3回策定委員会	・ 三期計画（素案）について ・ パブリック・コメントの実施について
11月7日（火）	第4回策定委員会	・ パブリック・コメントの結果について ・ 三期計画（案）について

事業の成果	二期計画の成果と課題を踏まえ、引き続き中心市街地の活性化に取り組むための指針として三期計画を策定し、内閣総理大臣からの認定を受けました。 今後は、三期計画に基づき、市が一体となって各種事業を推進するとともに、官民連携を図りながら、誰もが暮らしやすい魅力ある中心市街地のまちづくりに取り組みます。
-------	---

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	まちなか定住促進支援事業
-----	--------------

担当	都市政策部 都市整備課
----	----------------

(単位：千円)

決算額		18,489	リーディングプロジェクト	—
財源内訳	国県支出金	850	基本目標	3 「しごと」を核とした活力のあるまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針	1 中心市街地のにぎわいと活力の創出
	一般財源	17,639		

事業の目的

中心市街地活性化基本計画に基づき、定住促進を図る支援制度を実施することにより、居住人口増加による活力とにぎわいのある中心市街地の再生を図ります。

事業の概要

(1) 実施期間：平成26年度～令和5年度（平成26年10月1日開始）

(2) 実施エリア：中心市街地活性化基本計画によって定める中心市街地内

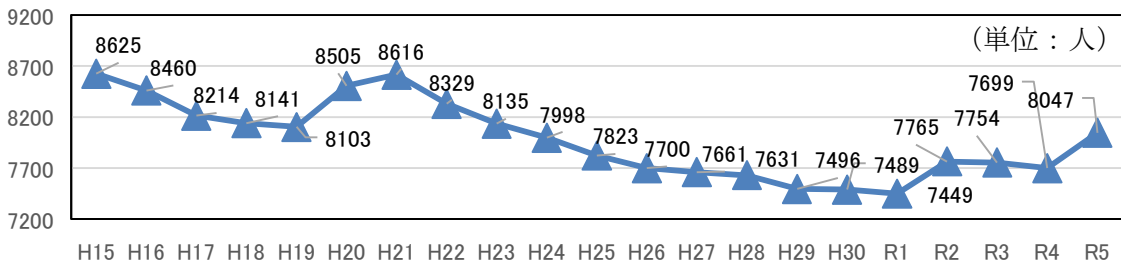
(3) 事業内容：

- ① まちなか賃貸住宅家賃補助：市外から中心市街地内の賃貸住宅へ住み替える世帯のうち、新婚世帯又は子育て世帯に対して、家賃の1/2（上限2万円/月）を補助します。
- ② まちなか住宅購入補助：市外から中心市街地内へ住み替える世帯のうち、住宅を購入又は新築する新婚世帯又は子育て世帯に対して、借入金の3%（上限50万円）を補助します。
- ③ まちなか住宅転用補助（令和元年7月開始）：中心市街地内の空きビル等を住宅へ用途変更する方に対して、転用工事費の1/2（上限50万円）を補助します。

[令和5年度分]

(単位：千円)

区分	概要	事業費
①賃貸住宅家賃補助	交付決定：23件（継続：16件、新規：7件）	4,144
②住宅購入補助	交付決定：30件	14,345
③住宅転用補助	—	0
合計		18,489



中心市街地の人口推移

事業の成果

令和5年度の賃貸住宅家賃補助と住宅購入補助の申請数は、前年度の30世帯よりも多い53世帯（世帯構成人数：149人）に上り、中心市街地内での定住促進及び人口集約に寄与しました。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	中心市街地まちなか再生事業	担当	都市政策部 都市整備課
-----	---------------	----	----------------

(単位：千円)

財源内訳	決算額	9,554	リーディングプロジェクト	2	未来につなげる「地域の宝」を生かしたまちづくり
	国県支出金		基本目標	3	「しごと」を核とした活力のあるまちづくり
	地方債				
	その他		政策方針	1	中心市街地のにぎわいと活力の創出
	一般財源	9,554			

事業の目的	中心市街地活性化基本計画の中で「趣（おもむき）・おもてなしゾーン」として位置付けている中央地区において、既存資源の活用や市街地整備の促進による都市機能の更新など、地域特性を活かしたまちづくり施策の検討を行うことにより、地区全体の活性化を目指します。
-------	---

事業の概要

中央地区の機能更新、亀城モールの活用によるにぎわいの創出に向けた検討を行い、土浦駅周辺エリアと亀城公園周辺エリアの中間に位置する対象地区の活性化を図ります。

◎実施内容

中央一丁目地区において検討している公共公益施設及び民間施設の複合施設について、地元中高生とのワークショップや民間事業者へのヒアリングなどを行い、基本構想の検討を進めました。また、亀城モール等へのベンチ設置を行いました。

[令和5年度分]

(単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	中心市街地まちなか再生コーディネート委託料	8,503
役務費	鑑定料	358
備品購入費	ベンチ購入費	693
合計		9,554

位置図

事業の成果	中央一丁目地区については、主要なターゲットである中高生の意見や民間事業者へのヒアリングなどを踏まえ、暮らしやすい集約型都市構造に向けた施設の基本構想を作成しました。また、亀城モール等にベンチを設置し、憩いの空間としての機能が向上しました。
-------	--

款	土木費	項	住宅費
---	-----	---	-----

事業名	住生活基本計画策定及び公営住宅等長寿命化計画見直し事業
-----	-----------------------------

担当	建設部 住宅営繕課
----	--------------

(単位：千円)

決算額		5,212	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金	2,303	基 本 目 標	8 効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地 方 債			
	そ の 他		政 策 方 針	2 魅力的な都市環境・住環境の創出
	一 般 財 源	2,909		

事業の目的

市営住宅を含む住宅分野の施策を総合的、計画的に推進するために、住生活基本計画を策定します。また、策定する住生活基本計画が、公営住宅等長寿命化計画の上位計画にあたることから、整合性を図るため、併せて計画の見直しを行います。

事業の概要

令和5年度、6年度の2カ年に渡り、住生活基本計画の策定を進めています。また公営住宅等長寿命化計画についても整合性を図るため、見直しを行っています。

◎計画期間 令和7年度～令和16年度

◎計画内容

住生活基本計画	公営住宅等長寿命化計画
①計画の背景・目的	①計画の背景・目的
②住生活を取り巻く現状と課題	②市営住宅の現状と課題
③住宅施策の基本理念と基本目標	③市営住宅の活用に係る方向性の検討
④住宅施策の展開	④市営住宅の維持管理計画等
⑤マンション管理適正化推進計画	
⑥計画の実現に向けて	

[令和5年度分]

(単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	住生活基本計画策定委託料	3,186
	公営住宅等長寿命化計画見直し委託料	1,935
報償費	策定委員会運営（委員報償費）	91
合 計		5,212

事業の成果

令和5年度は、住生活基本計画策定委員会を2回開催し、本市の住宅や住環境に関する現状や課題を市民アンケート調査等により整理を行い、住宅施策の基本理念や基本目標等について協議を重ねました。

また、公営住宅等長寿命化計画（見直し）は、市営住宅の現状や課題を再整理し、長寿命化に関する基本方針の見直しを進めました。

款	消防費	項	消防費
---	-----	---	-----

事業名	救助資器材整備事業
-----	-----------

担当	消防本部 警防救急課
----	---------------

(単位：千円)

決算額		2,182	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金	739	基 本 目 標	4 全ての市民が安心して暮らせるまちづくり
	地 方 債			
	そ の 他		政 策 方 針	3 全ての災害から市民を守る消防・救急体制の強化
	一 般 財 源	1,443		

事業の目的

複雑多様化する災害に対応するため救助資器材の更新整備を行い、市民の生命・身体・財産を守る消防力の維持・強化に努めます。

事業の概要

◎事業内容

消防力を充実させるため、各種災害に対応できる必要な資器材を選定し、導入していますが、資器材の経年劣化及び耐用期限の経過などにより、適宜更新する必要があります。

令和5年度は、ロープレスキュー資器材一式及び化学防護服レベルA（2着）を更新しました。

[令和5年度分]

(単位：千円)

区分	概要	事業費
備品購入費	- ロープレスキュー資器材一式 - 化学防護服レベルA（2着）	2,182



ロープレスキュー資器材活用イメージ



化学防護服活動イメージ

事業の成果

救助資器材を更新整備することにより、複雑多様化する災害から市民の生命・身体・財産を守るため、消防力の充実を図り、安心・安全なまちづくりに寄与しました。

款	消防費	項	消防費
---	-----	---	-----

事業名	救急資器材整備事業
-----	-----------

担当	消防本部 警防救急課
----	---------------

(単位：千円)

決算額		770	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金		基 本 目 標	4 全ての市民が安心して暮らせるまちづくり
	地 方 債			
	そ の 他		政 策 方 針	3 全ての災害から市民を守る消防・救急体制の強化
	一 般 財 源	770		

事業の目的

感染症に伴う救急活動に対し、計画的に資器材を備蓄し、対応可能な状態を維持します。

事業の概要

◎事業内容

新型コロナウイルス感染症などの流行時であっても、資機材が不足することなく対応する必要があることから、適宜必要数を確保しています。しかし、経年劣化があることから、毎年、備蓄量の5分の1を購入し、更新しています。

令和5年度も、感染着やマスク、ゴーグルなどの備蓄量の5分の1を更新しました。

〔令和5年度分〕 (単位：千円)

区分	概要	事業費
消耗品費	・ 感染着（上・下） ・ N95マスク ・ ニトリルグローブ ・ ゴーグル ・ タイベック ・ シューズカバー ・ 人工呼吸器フィルター	770



感染着着用例



ニトリルグローブ



人工呼吸器フィルター

事業の成果

計画的に備蓄を更新し、感染防止対策を充実させることにより、市民からの救急要請等に十分に対応できる体制を確保しました。

款	消防費	項	消防費
---	-----	---	-----

事業名	常備消防車両更新事業
-----	------------

担当	消防本部 消防総務課
----	---------------

(単位：千円)

決算額		115,390	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金	33,999	基 本 目 標	4 全ての市民が安心して暮らせるまちづくり
	地 方 債	41,900		
	そ の 他		政 策 方 針	3 全ての災害から市民を守る消防・救急体制の強化
	一 般 財 源	39,491		

事業の目的

更新基準に達している消防車両を計画的に更新することにより、消防力の強化を図ります。

事業の概要

化学消防ポンプ自動車及び高規格救急自動車の更新を実施しました。



化学消防ポンプ自動車



高規格救急自動車

[令和5年度分]

(単位：千円)

区分	概要			事業費	
旅費	車両中間検査	化学消防ポンプ自動車	8	56	
		高規格救急自動車	48		
役務費	リサイクル預託金	化学消防ポンプ自動車	13	41	
		高規格救急自動車	13		
		自賠責保険料	化学消防ポンプ自動車		7
		高規格救急自動車	8		
備品購入費	車両購入費	化学消防ポンプ自動車	78,430	115,170	
		高規格救急自動車	36,740		
公課費	自動車重量税	化学消防ポンプ自動車	90	123	
		高規格救急自動車	33		
合計				115,390	

事業の成果

消防力の基幹である消防車両を更新整備することにより、救急・救助業務を含む消防体制の充実を図り、安心・安全なまちづくりに寄与しました。

款	教育費	項	教育総務費
---	-----	---	-------

事業名	部活動改革推進事業
-----	-----------

担当	教育委員会 指導課
----	--------------

(単位：千円)

決算額		17,034	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金	7,757	基 本 目 標	1 心豊かに住み続けることのできるまちづくり
	地 方 債			
	そ の 他		政 策 方 針	2 時代の変化に対応した学校教育の充実
	一 般 財 源	9,277		

事業の目的	市立中学校等における生徒数の減少傾向や、教職員の働き方改革を踏まえた持続可能な部活動改革と、生徒の多様なニーズに応じた活動の場の確保を含めたスポーツ・文化活動の質的な向上を図ります。
-------	---

事業の概要	◎部活動指導員の配置 令和4年度より、専門的な知識や技能を有する部活動指導員を公立中学校及び義務教育学校に8名配置しており、令和5年度は指導員を増員して16名配置し、人材確保を行いました。 ◎休日の部活動の地域移行について 国が令和5年度～令和7年度を休日の部活動地域移行改革推進期間としていることから、本市では令和5年10月に運営団体「土浦市地域クラブ活動推進協会」を設立し、軟式野球、サッカー、バスケットボール、バレーボールの4競技で先行して休日の部活動を段階的に地域に移行する実証事業を開始し、枠組み作りに取り組みました。 休日の地域移行ロードマップ
-------	---

事業の成果	各中学校及び義務教育学校への部活動指導員の配置、令和8年度からの休日の部活動の地域への完全移行に向けた枠組み作りに取り組むことで、教職員の働き方改革と児童生徒の持続可能な地域スポーツ・文化活動の実現に寄与しました。
-------	---

款	教育費	項	小学校費
---	-----	---	------

事業名	上大津地区統合小学校整備事業
-----	----------------

担当	教育委員会 教育総務課
----	----------------

(単位：千円)

決算額		89,397	リーディング プロジェクト	1	子どもが夢と希望を持ち、生き生きと育つまちづくり
財 源 内 訳	国県支出金		基 本 目 標	1	心豊かに住み続けることのできるまちづくり
	地 方 債	73,200			
	そ の 他		政 策 方 針	2	時代の変化に対応した学校教育の充実
	一 般 財 源	16,197			

事業の目的	児童数が減少し、学級数が適正規模に満たない小学校がある上大津地区について、「上大津地区小学校適正配置実施計画」（令和5年2月改訂）に基づき、上大津地区に統合小学校を建設します。
-------	---

事業の概要

令和4年度に上大津東小学校の敷地を北側に拡張した箇所を候補地として選定しました。

令和5年度は、学校用地として選定した区域の用地取得及び校舎・屋内運動場棟に係る建築、外構等の基本設計及び実施設計業務を委託する事業者を選定するための公募型プロポーザルを実施しました。

[令和5年度分]

(単位：千円)

区分	概要	事業費
人件費等	会計年度任用職員に係る経費	1,717
報償費	プロポーザル選定委員会委員報酬	270
鑑定料	不動産鑑定評価	495
委託料	用地測量調査委託	4,400
工事請負費	金澤遺跡及び石橋南遺跡試掘確認調査に伴う掘削工事	1,034
用地取得費	学校用地購入費	81,481
合計		89,397

[施設整備スケジュールの整理]

内容	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
設計者選定	●	●				
基本設計・実施設計		●	●	●		
施工者選定			●	●		
建設工事				●	●	●
既存校舎解体					●	●

開校

事業の成果	令和5年度は、統合小学校の整備に向けて、用地取得及び校舎・屋内運動場棟に係る基本設計及び実施設計業務を委託する事業者を選定するための公募型プロポーザルを実施しました。 今後は、令和10年度の統合小学校開校を目指し、新校舎建設及び屋内運動場・グラウンド整備等を進め、子どもたちにとってより良い教育環境の確保を図ります。
-------	--

款	教育費	項	小学校費・中学校費
---	-----	---	-----------

事業名	小学校／中学校長寿命化改良事業
-----	-----------------

担当	教育委員会 教育総務課
----	----------------

(単位：千円)

決算額		1,193,433	リーディングプロジェクト	1	子どもが夢と希望を持ち、生き生きと育つまちづくり
財源内訳	国県支出金	248,733	基本目標	1	心豊かに住み続けることのできるまちづくり
	地方債	420,200			
	その他		政策方針	2	時代の変化に対応した学校教育の充実
	一般財源	524,500			

事業の目的

令和2年度に策定した学校施設の長寿命化計画に基づき、ライフサイクルコストの縮減及び予算の平準化を図りつつ、学校施設に求められる機能・性能を確保します。

事業の概要

◎事業内容

- ・東小学校屋内運動場長寿命化改良工事
- ・都和南小学校校舎及び屋内運動場棟長寿命化改良工事（1期）
- ・土浦第四中学校校舎棟長寿命化改良工事（2期）
- ・乙戸小学校校舎棟及び屋内運動場棟長寿命化改良工事実施設計
- ・土浦第二中学校武道場長寿命化改良工事実施設計
- ・都和中学校校舎・技術棟長寿命化改良工事基本設計・耐力度調査

◎事業費内訳

[令和5年度分]

(単位：千円)

区分	概要	事業費	
		小学校	中学校
消耗品費	長寿命化改良工事に係る粉末消火器（東小、四中）、長寿命化改良工事に伴う消耗品購入（四中）	115	6,117
手数料	消防検査等手数料（東小）、ケーブルテレビ用引込線撤去（都和南小）、ネットワーク工事手数料（四中）	72	137
委託料	産業廃棄物収集運搬委託（東小、都和南小、四中）、長寿命化改良工事実施設計委託（乙戸小、都和中、二中）、耐力度調査委託（都和中）、地質調査委託（都和中）、試掘確認調査支援委託（都和南小）、引越運搬委託（四中）	28,610	29,682
工事請負費	仮設校舎LAN・電話配線用ケーブル配線盛替工事、仮設校舎機械警備移設工事、電話・LAN通信設備工事、長寿命化改良外構工事（四中）、地質調査に伴う床フローリング工事（都和中）	0	3,344
備品購入費	長寿命化改良工事に伴う備品等購入（四中）	0	15,483
合計		28,797	54,763

[令和4年度からの繰越分]

(単位：千円)

区分	概要	事業費	
		小学校	中学校
委託料	長寿命化改良工事基本・実施設計委託（都和南小）、長寿命化改良工事監理委託（東小、四中）	20,363	10,877
使用料及び賃借料	仮設校舎賃貸借（都和南小、四中）	46,917	93,746
工事請負費	長寿命化改良建築主体工事、電気設備工事、機械設備工事（東小、都和南小、四中）	287,539	492,547
合計		354,819	597,170

[令和3年度からの繰越分]

(単位：千円)

区分	概要	事業費	
		小学校	中学校
委託料	長寿命化改良工事監理委託（四中）	0	6,118
工事請負費	長寿命化改良建築主体工事、電気設備工事、機械設備工事（四中）	0	151,766
合計		0	157,884



東小学校屋内運動場長寿命化改良工事（外観）



東小学校屋内運動場長寿命化改良工事（アリーナ）



土浦第四中学校校舎棟長寿命化改良工事（外観）



土浦第四中学校校舎棟長寿命化改良工事（内装）

事業の成果

令和5年度は、東小学校屋内運動場長寿命化改良工事、都和南小学校屋内運動場及び特別教室棟（1期）長寿命化改良工事、土浦第四中学校校舎棟（2期）長寿命化改良工事を施工しました。構造体の劣化対策やライフラインの更新などにより建物の耐久性を高めるとともに、省エネルギー化や多様な学習内容、学習形態による活動が可能となるなど、現代社会の要請に応じた学校施設の長寿命化が図られました。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

事業名	家庭教育支援事業
-----	----------

担当	教育委員会 生涯学習課
----	----------------

(単位：千円)

決算額		343	リーディングプロジェクト	—
財源内訳	国県支出金	228	基本目標	1 心豊かに住み続けることのできるまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針	1 結婚・出産・子育ての切れ目ない支援の充実
	一般財源	115		

事業の目的	課題を抱え、自ら保護者向けの学びの場や相談の場などに足を運ぶことが難しい保護者に、地域の人材を活用した家庭教育支援員が支援を届け、保護者への支援を通じて子どもの育ちを支えます。
-------	--

事業の概要

小学校へ入学する子どもを持つ家庭を対象として、就学時検診時に家庭教育支援員が事業の目的や相談窓口等を一人ひとりに説明し、家庭教育や福祉の情報を提供しながら、支援ニーズの把握に努めました。また、必要に応じて個別に面談等を行い、こども家庭センターなどへ引継ぎました。

◎会議の開催

- ・訪問型家庭教育支援事業推進協議会（2回）

◎訪問型家庭教育支援員活動の手引きの作成

◎訪問型家庭教育支援事業の実施（16校）

- ・実施率：100%
（実施世帯数：949世帯／対象世帯数：949世帯）
※うち個別相談件数：14件
- ・活動支援員：延べ62名

◎事業費

[令和5年度分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
報償費	推進協議会委員報償費	121
	家庭教育支援員報償費	122
需用費	研修会及び活動時消耗品	86
役務費	支援員活動時保険料	14
合計		343

土浦市訪問型家庭教育支援員
活動の手引き

はじめに

子育ての悩みや不安を抱えていても、自分から保護者向けの学びの場や相談の場に足を運ぶことが難しい保護者のもとに、地域の家庭教育支援員（以下、支援員）が支援を届けることで、保護者の孤立を防ぎ、子どもの育ちを支えていくのが、訪問型家庭教育支援です。

1 土浦市訪問型家庭教育支援事業について

- 支援対象：就学前の幼児をもつ家庭（保護者）
- 支援員：現職の学校教職員を除く土浦市青少年相談員
- 情報を届ける方法：

小学校入学前に各学校で聞かれる、就学時健康診断の会場に支援員が出席し、保護者1人1人に説明をしながら情報提供のチラシを配ることで、家庭教育や相談の情報を届けます。

- 個別支援が必要な家庭に対する継続支援：

市生涯学習課の職員が面談等を行い、支援ニーズを把握した上で、必要に応じて市の担当部署や専門機関への橋渡しを行います。

2 支援員の活動

①支援活動に向けた準備

- ・青少年相談員連絡協議会のブロックごとに、担当する支援員を決定します。ブロック長を中心に、支援活動に参加する支援員のとりまめをお願いしております。
- ・清潔感がありながらも、あまり華美にならない服装で活動します。支援員は、保護者にとっての身近な存在と感じてもらうため、スーツなどのかたじけなかった服装の必要はありません。
- ・支援員の身分証となる名札は、活動当日にお渡しします。

②就学時健康診断の当日

《集合》

- ・現地集合・解散とします。
- ・学校ごとに決められた集合時間（受付の30分前）に、受付場所に集まってください。集まり次第、活動内容の確認などの打合せを行います。
- ・学校の駐車場には限りがあるため、自転車は徒歩でお願います。

《打合せ》

- ・市生涯学習課職員から、活動方法や注意点などの説明を行います。
- ・必要に応じて、支援員同士で役割を分担します。

活動の手引き

土浦市訪問型家庭教育支援員活動の手引き

はじめに

子育ての悩みや不安を抱えていても、自分から保護者向けの学びの場や相談の場には足を運ぶことが難しい保護者のもとに、地域の家庭教育支援員（以下、支援員）が支援を届けることで、保護者の孤立を防ぎ、子どもの育ちを支えていくのが、訪問型家庭教育支援です。

1 土浦市訪問型家庭教育支援事業について

○支援対象：就学前の幼児をもつ家庭（保護者）

○支援員：現職の学校教職員を除く土浦市青少年相談員

○情報を届ける方法：

小学校入学前に各学校で開かれる、就学時健康診断の会場に支援員が出向き、保護者1人1人に説明をしながら情報提供のチラシを配ることで、家庭教育や相談の情報を届けます。

○個別支援が必要な家庭に対する継続支援：

市生涯学習課の職員が面談等を行い、支援ニーズを把握した上で、必要に応じて市の担当部署や専門機関への橋渡しを行います。

2 支援員の活動

①支援活動に向けた準備

- ・青少年相談員連絡協議会のブロックごとに、担当する支援員を決定します。ブロック長を中心に、支援活動に参加する支援員のとりまとめをお願いしております。
- ・清潔感がありながらも、あまり華美にならない服装で活動します。支援員は、保護者にとっての身近な存在と感じてもらうため、スーツなどのかしこまった服装の必要はありません。
- ・支援員の身分証となる名札は、活動当日にお渡しします。

②就学時健康診断の当日

《集合》

- ・現地集合・解散とします。
- ・学校ごとに決められた集合時間（受付の30分前）に、受付場所に集まってください。集まり次第、活動内容の確認などの打合せを行います。
- ・学校の駐車場には限りがあるため、自転車か徒歩でお願いします。

《打合せ》

- ・市生涯学習課職員から、活動方法や注意点などの説明を行います。
- ・必要に応じて、支援員同士で役割を分担します。

活動の手引き

事業の成果	訪問型家庭教育支援員の協力により、対象となる全家庭へ家庭教育の機会や専門の相談窓口等の情報提供を行い、支援ニーズを聞き取りながら、相談対応と個別支援を行ったことで、保護者の不安や悩みの解消を通じて子どもの育ちを支えることに寄与しました。
-------	--

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

事業名	コミュニティ・スクール導入事業
-----	-----------------

担当	教育委員会 指導課・生涯学習課
----	--------------------

(単位：千円)

決算額	2,568	リーディングプロジェクト	—
財源内訳	国県支出金	基本目標	1 心豊かに住み続けることのできるまちづくり
	地方債		
	その他	政策方針	2 時代の変化に対応した学校教育の充実
	一般財源		
	2,568		

事業の目的	コミュニティ・スクールとは、「学校運営協議会」を設置した学校のこと、学校と地域住民等が力を合わせて学校運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みとして、市内全ての市立小・中学校、義務教育学校への設置を目指します。
-------	--

事業の概要

家庭や地域と連携した教育活動の推進を図るため、保護者・地域住民・学校長等を委員とした学校運営協議会を各学校へ設置し、学校運営の改善や地域の子どもの健全育成に取り組む体制を整備しました。

学校運営協議会では、学校や地域が抱える課題、目指す子ども像、課題解決や教育活動の充実のための連携した取組などについて協議を行いました。

◎学校運営協議会

- ・委員の委嘱（4月）：全23校延べ300名
- ・各協議会の開催（6月～3月）：計68回
- ・協議事項（各校3回程度）
 - ①校長が作成した学校運営の基本方針の承認
 - ②学校、家庭、地域の教育課題や教育目標等
 - ③学校評価 など

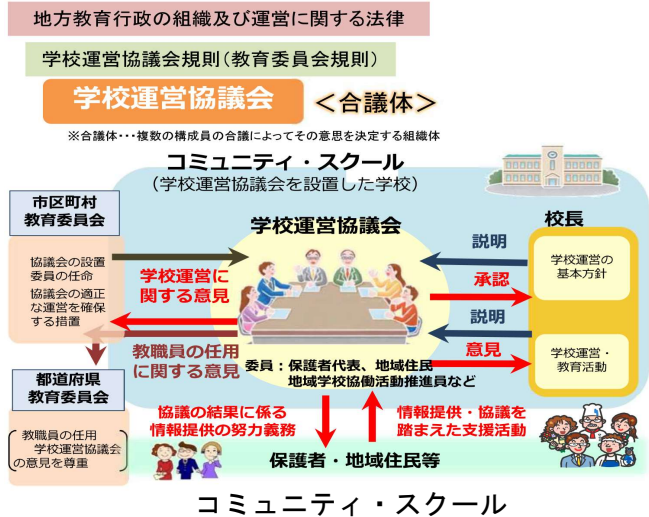
◎研修会（5月）

- ・学校運営協議会や委員の役割など

◎事業費

[令和5年度分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
報酬	委員報酬（延べ214名）	2,568



研修会の開催状況

事業の成果

全ての市立小・中学校、義務教育学校へ学校運営協議会を設置したことにより、学校・家庭・地域が連携して教育活動に取り組む体制が整備され、地域と一体となった特色ある学校づくりを推進しました。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

事業名	文化財整備・活用事業
-----	------------

担当	教育委員会 文化振興課
----	----------------

(単位：千円)

決算額		4,627	リーディングプロジェクト	2 未来につなげる「地域の宝」を生かしたまちづくり
財源内訳	国県支出金		基本目標	2 未来につなげる魅力あるまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針	3 歴史・芸術・文化のあふれるうるおいあるまちづくり
	一般財源	4,627		

事業の目的

土浦市文化財保存活用地域計画をもとに具体的な文化財の保存活用を進めていくことで、歴史文化を生かしたまちづくりを進めていきます。

事業の概要

◎これまでの経緯

令和3年12月に、所有者より国登録有形文化財建造物「一色家住宅主屋」（西真鍋）について、建物及び敷地の寄贈を受け、令和4年度に、敷地境界及び道路に面したブロック塀が危険な状況であったことから撤去工事を行いました。

令和5年度は、建物等の維持管理を継続するとともに、歴史文化を生かしたまちづくりを推進するため、「一色家住宅主屋」の今後の改修、活用に向けた利活用構想と保存活用計画を策定しました。

〔令和5年度分〕

(単位：千円)

区分	概要	事業費
需用費	光熱水費	66
委託料	利活用構想・保存活用計画策定、樹木剪定、機械警備など	4,561
合計		4,627



一色家住宅 外観

事業の成果

文化財保存活用地域計画に位置付けた文化財について、適切な維持管理を継続するとともに、利活用構想及び保存活用計画を策定することで、歴史文化を生かしたまちづくりの推進に寄与しました。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

事業名	特別展・企画展事業
-----	-----------

担当	教育委員会 上高津貝塚 ふるさと歴史の広場
----	--------------------------

(単位：千円)

決算額		1,400	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金		基 本 目 標	2 未来につなげる魅力あるまちづくり
	地 方 債			
	そ の 他		政 策 方 針	3 歴史・芸術・文化のあふれるうるおいあるまちづくり
	一 般 財 源	1,400		

事業の目的	本市の歴史や文化遺産の調査研究成果を特別展や企画展の展示を通して広く公開することで、市民の生涯学習に対する要望に応えるとともに、文化財保護に対する意識の醸成を図ります。
-------	---

事業の概要

第26回企画展「霞ヶ浦に臨む王—古墳時代前期の地域社会—」を開催しました。

◎開催期間 令和5年10月14日（土）～12月3日（日）〔43日間〕 ◎入館者数6,446名

◎概要 当館と筑波大学が合同学術調査を実施した市内王塚古墳・后塚古墳の発掘調査成果と霞ヶ浦周辺の遺跡出土資料から、古墳時代前期の地域社会を紹介しました。

◎記念行事

①記念シンポジウム「霞ヶ浦の前期古墳と地域社会の成り立ち」 ②展示の見どころ解説

③体験型イベント 上高津貝塚どきどき体験

〔令和5年度分〕 (単位：千円)

区分	概要	事業費
報償費	シンポジウム講師謝礼	150
需用費	パンフレット印刷等	487
役務費	通信運搬費、筆耕料、保険料	525
委託料	映像撮影委託料	148
その他	旅費、会場借上料、有料道路使用料	90
合計		1,400



記念シンポジウム



企画展展示風景



展示の見どころ解説

事業の成果	今回の展示では、数年に渡って筑波大学と合同で行った学術調査の成果とともに、茨城県内の主要な前期古墳の資料を集成することで、霞ヶ浦周辺の古墳時代前期の地域社会の特徴を紹介しました。関連イベントとして実施したシンポジウムでは、163名の参加者を迎えたほか、講演を配信したことで、情報を広く発信し、市民の文化財保護意識の醸成に寄与しました。
-------	--

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

事業名	博物館大規模改修事業
-----	------------

担当	教育委員会 博物館
----	--------------

(単位：千円)

決算額		425, 171	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金		基 本 目 標	2 未来につなげる魅力あるまちづくり
	地 方 債	374, 900		
	そ の 他		政 策 方 針	3 歴史・芸術・文化のあふれるうるおいあるまちづくり
	一 般 財 源	50, 271		

事業の目的

博物館は開館から35年余が経過し、施設・設備面での老朽化が進んでいることから、令和4年度から5年度にかけて空調設備を中心に改修工事を行い、施設・設備を整備・更新し、機能維持と長寿命化を図ります。

事業の概要

◎事業内容

令和4年度から5年度の2カ年事業として、空調設備のほか、給排水衛生設備、照明設備のLED化、屋上防水改修、「だれでもトイレ」への改修などを実施したほか、建築工事として、博物館玄関前等のアスファルト舗装の更新や浸水対策として止水板の設置を行いました。

工事完了後、仮事務所の移転と収蔵資料の移動を行い、令和6年1月5日に再開館記念式典を開催し、その翌日に再開館しました。

[令和4年度からの繰越分]

(単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	工事監理委託	2, 662
工事請負費	機械設備、電気設備、建築改修	59, 428
合計		62, 090

[令和5年度分]

(単位：千円)

区分	概要	事業費
需用費	来館者用家具、事務机等	1, 446
役務費	収蔵資料移動収納作業等	1, 180
委託料	工事監理委託、館内備品等輸送、廃棄物処理等	11, 626
使用料及び賃借料	亀城プラザ使用料等	985
工事請負費	機械設備、電気設備、建築改修	347, 289
備品購入費	来館者用備品等	555
合計		363, 081



改修工事後の博物館

事業の成果

令和4～5年度の改修工事により、国宝や重要文化財などの歴史資料を将来にわたって保存・展示できる設備を整備するとともに、来館者が、より快適に過ごせる環境を提供することが可能となりました。今後も、本市の歴史文化の発信拠点として、市民の郷土・土浦への愛着を育むことにつなげていきます。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

事業名	重要資料公開推進事業
-----	------------

担当	教育委員会 博物館
----	--------------

(単位：千円)

決算額		3,847	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金		基 本 目 標	2 未来につなげる魅力あるまちづくり
	地 方 債			
	そ の 他		政 策 方 針	3 歴史・芸術・文化のあふれるうるおいあるまちづくり
	一 般 財 源	3,847		

事業の目的	特別展やテーマ展を通して、本市の歴史に関する研究成果を広く公開・発信し、郷土の歴史を学ぶ市民の要望に応え、本市の歴史への関心の向上を図ります。
-------	--

事業の概要

◎事業内容

空調設備等大規模改修工事による長期休館を経て再開館するにあたり、以下の特別展を開催しました。

(単位：人)

展覧会の名称／会期	概要	入館者数
再開館記念／第44回特別展 「土浦のたからもの 一守り伝える、未来へー」 令和6年1月6日（土）～3月17 日（日）	市民の宝ともいえる貴重 な文物を展覧しながら、 資料を守り伝える 手法についても紹介し ました。	8,792
第45回特別展／上高津貝塚 ふるさと歴史の広場合同展 「土浦“モノ”語りー資料が 語る土浦の歴史ー」 令和6年3月23日（土）～3月31 日（日）	本市の古代から現代ま での歴史・文化を物語 る多様な資料を展示し ました。	1,066

「土浦のたからもの」展

[令和5年度分]

(単位：千円)

区分	概要	事業費
報償費	特別展記念事業講師謝礼	40
旅費	資料調査旅費	2
需用費	図録・ポスター等印刷製本費	2,286
役務費	展示作業手数料・展示資料保険料	1,222
委託料	映像追加委託料	297
合計		3,847

「土浦“モノ”語り」展



「土浦のたからもの」展



「土浦“モノ”語り」展

事業の成果	第44回特別展では、再開館記念展として、本市の歴史文化を伝える名品の数々を紹介しました。第45回特別展では、上高津貝塚ふるさと歴史の広場との連携による合同展として、本市の歴史を原始時代から近現代まで振り返り、本市の悠久の歴史を通史的に展示し、本市の歴史への関心の向上に寄与しました。
-------	--

款	教育費	項	保健体育費
---	-----	---	-------

事業名	川口運動公園整備事業
-----	------------

担当	教育委員会 スポーツ振興課
----	------------------

(単位：千円)

決算額		260,194	リーディングプロジェクト	3	暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり
財源内訳	国県支出金	129,250	基本目標	1	心豊かに住み続けることのできるまちづくり
	地方債	116,300			
	その他		政策方針	4	本市の特性を生かしたスポーツ活動の推進
	一般財源	14,644			

事業の目的

野球場に設置している経年劣化した磁気反転方式スコアボードを、フル画面LED方式スコアボードに改修することで、視認性の向上を図ります。
また、同野球場の維持管理のため、各種修繕工事を実施します。

事業の概要

◎事業内容

野球場スコアボードの表示部を「磁気反転方式」から「フル画面LED方式」に改修しました。

また、ダグアウト内の傷んだ床材の補修工事、窓ガラスのフィルムの貼替修繕を実施しました。

[令和5年度分]

(単位：千円)

区分	概要	事業費
需用費	窓ガラスフィルム貼替修繕	495
工事請負費	野球場スコアボード改修工事	258,500
	野球場ダグアウト床材補修工事	1,199
合計		260,194



改修後のスコアボード

事業の成果

ダグアウト床材の補修工事等を行ったことで、競技環境を改善しました。
また、スコアボードの表示部を映像等の放映が可能となる「フル画面LED方式」としたことで、視認性が向上したほか、野球のみならず様々なイベント等で幅広く活用することが可能となったことから、中心市街地活性化の効果が期待されます。

款	教育費	項	保健体育費
---	-----	---	-------

事業名	小学校口腔衛生推進事業
-----	-------------

担当	教育委員会 学務課
----	--------------

(単位：千円)

決算額		369	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金	60	基 本 目 標	1 心豊かに住み続けることのできるまちづくり
	地 方 債			
	そ の 他		政 策 方 針	2 時代の変化に対応した学校教育の充実
	一 般 財 源	309		

事業の目的	生涯にわたり健康な生活を送るためには、学齢期から口腔の健康を維持することが重要であることから、市立小学校の児童に対しフッ化物洗口を実施します。
-------	---

事業の概要

県の補助を活用し、令和5年度は実施校を拡大して小学校2校でフッ化物洗口を実施しました。

◎実施状況

学校名	都和小学校		中村小学校
学年	第4学年	第5学年	第5学年
学級数	2学級	2学級	2学級
対象者数	73人	60人	50人
実施期間	令和5.6月～令和6.3月	令和5.5月～令和6.3月	令和5.7月～令和6.3月
実施回数	31回	36回	27回

- ※都和小学校の第5学年は、令和4年度からの継続。
- ※都和小学校の第4学年及び中村小学校の第5学年は、令和5年度から開始。
- ※実施方法は、いずれも週1回法で毎週木曜日に実施。

[令和5年度分]

(単位：千円)

区分	概要	事業費
需用費	フッ化物洗口液（オラブリス洗口液500ml）等	369

洗口液ボトル

事業の成果	フッ化物洗口の集団実施により、むし歯予防の習慣化が促進され、自分の歯を守る意識が高まりました。さらに、むし歯罹患率の高い小学校などから順次対象校を拡大していくことで、むし歯による健康格差の縮小を図ります。
-------	--

款	教育費	項	保健体育費
---	-----	---	-------

事業名	土浦市立学校給食センター管理運営事業
-----	--------------------

担当	教育委員会 学校給食センター
----	-------------------

(単位：千円)

決算額		1,050,515	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金	135,083	基 本 目 標	1 心豊かに住み続けることのできるまちづくり
	地 方 債			
	そ の 他	262,180	政 策 方 針	2 時代の変化に対応した学校教育の充実
	一 般 財 源	653,252		

事業の目的

成長期にある児童生徒の健康の増進を図るため、栄養バランスのとれた、衛生的で安心安全な給食を提供します。

事業の概要

市立小学校（15校）、中学校（7校）、義務教育学校（1校）及び茨城県立土浦第一高等学校附属中学校（県委託事業）の児童生徒・教職員に対し、毎日約10,300食の給食を提供しました。
また、子育て世帯の支援拡充と経済的負担軽減のため、令和5年10月分から、市立の義務教育諸学校へ通う児童生徒を対象に、給食費の無償化を実施しました。

◎給食費無償化の概要

- (1) 対象者：市立小中学校（義務教育学校を含む）へ通う児童生徒
- (2) 無償となる給食費：小学生 4,200円／月、中学生 4,700円／月

◎学校給食費収入（保護者負担分）

令和5年度現年度分 259,945千円

（参考）令和4年度現年度分 498,886千円

[令和5年度分]

(単位：千円)

区分	概要	事業費
人件費	学校配膳員報酬等人件費	44,377
需用費	消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料	84,165
	給食食材購入費	574,656
役務費	保菌検査手数料等	1,637
委託料	調理等委託料、給食輸送委託料、その他施設維持管理等	344,440
その他	システム使用料、備品購入費、協議会負担金等	1,240
合計		1,050,515

事業の成果

学校給食実施基準及び学校給食衛生管理基準等に基づき、栄養バランスのとれた、安心安全な給食を提供しました。また、給食費無償化により、子育て世帯の支援拡充と経済的負担の軽減に寄与しました。

主 要 施 策 の 成 果 説 明 書

特 別 会 計

款	地域支援事業費	項	包括的支援事業・任意事業費
---	---------	---	---------------

事業名	認知症施策推進事業
-----	-----------

担当	保健福祉部 高齢福祉課
----	----------------

(単位：千円)

決算額		11,143	リーディングプロジェクト	—
財源内訳	国県支出金	6,440	基本目標	6 ふれあいとあたたかさにあふれる福祉のまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針	2 生きがいと誇りを持って暮らせる高齢者福祉の充実
	一般財源	4,703		

事業の目的	誰もが認知症を自分の事として考え、「生活のあらゆる場面で、認知症になってからも、できる限り住み慣れた地域で、普通に暮らし続けていく上での障壁（＝バリア）を減らす『認知症バリアフリー』の取組が推進されているまち、つちうら」の実現を目指します。
-------	--

事業の概要

本市として、認知症施策に重点的に取り組む姿勢や、目指す姿を広く内外に発信するために「つちうら認知症バリアフリー宣言」をしました。認知症の人や家族の声及び視点を重視しながら、市民・社会・行政が一体となって、認知症について理解し、備え、対応していけるよう、体制づくりを進めました。

令和4年度から、本市独自で設定した、9月の「つちうら認知症バリアフリー月間」にて、オレンジライトアップや横断幕・のぼり旗設置、ポスター掲示を実施し、普及啓発を図っています。また、今年度の新たな取組みとして、認知症に関する市民講演会を実施しました。

つちうら認知症バリアフリー宣言
(令和5年4月1日)

土浦駅での啓発活動

土浦駅オレンジライトアップ

市民講演会

「認知症を正しく理解し、自分の事として考え、認知症の人や家族の想いに寄り添った行動ができる人を増やします」（つちうら認知症バリアフリー宣言）の実現には、認知症に関する正しい知識の普及・啓発が基盤となるため、認知症サポーター養成講座を積極的に開催しました。

[令和5年度分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
報酬等	人件費	2,008
報償費	講師謝礼等	492
需用費	普及啓発物品購入等	618
委託料	初期集中支援チーム委託料	7,630
	認知症カフェ委託料	
使用料等	会議使用料、切手代等	395
合計		11,143

事業の成果	つちうら認知症バリアフリー宣言やつちうら認知症バリアフリー月間等において、認知症の普及啓発活動の強化を図ったところ、認知症サポーター養成講座は、令和4年度504人の受講者に対し、今年度は1,489人、認知症カフェは、令和4年度272人の利用者に対し今年度は365人と、令和4年度を大きく上回り、認知症バリアフリーの取組推進に寄与しました。
-------	---

款	資本的支出費	項	建設改良費
---	--------	---	-------

事業名	配水管施設整備事業／老朽管更新事業
-----	-------------------

担当	建設部 水道課
----	------------

(単位：千円)

決算額		451, 293	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金	37, 000	基 本 目 標	7 未来につなげる環境にやさしいまちづくり
	地 方 債	22, 000		
	そ の 他		政 策 方 針	4 人と自然にやさしい水環境の維持・改善
	一 般 財 源	392, 293		

事業の目的	生活環境の改善と公衆衛生向上のため、送配水管の計画的な整備を行い、未給水地域の解消を図るとともに、安心・安全な水道水を安定的に供給するための相互連絡管路の充実を図ります。また、更新基準を経過した配水管の計画的な更新を行います。
-------	---

事業の概要

市内未整備路線などへの配水管新設工事を実施し管網の拡充を図るとともに、老朽管の布設替工事を実施し、水道水の安定供給に努めました。

[令和4年度からの繰越分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	実施設計 3件 2, 500. 0m	14, 200
工事請負費	配水管布設工事 4件 1, 449. 0m	47, 275
	老朽管更新工事 3件 806. 0m	60, 565
合計		122, 040

[令和5年度分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	実施設計 5件 3, 500. 0m	35, 183
工事請負費	配水管布設工事 3件 347. 0m	31, 636
	老朽管更新工事 8件 1, 532. 9m	211, 229
	送水管更新工事 1件 56. 0m	51, 205
合計		329, 253

[令和6年度への繰越分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	実施設計 2件 1, 297. 0m	8, 998
工事請負費	配水管布設工事 1件 213. 0m	12, 736
	老朽管更新工事 7件 1, 104. 6m	218, 180
	送水管更新工事 1件 253. 0m	64, 000
合計		303, 914

港町一丁目地内配水管布設工事

[令和5年度末整備状況]

配水管路延長	約905km	給水区域内人口	A	141, 977人
うち法定耐用年数40年を		給水人口	B	138, 970人
超えた管路延長	約251km	給水戸数		66, 105戸
		普及率	B／A	97. 9%



港町一丁目地内配水管布設工事

事業の成果	利用者へ安心・安全な水道水を安定的に供給するとともに、災害時に備えた水の確保と災害に強い施設の整備に寄与しました。
-------	---

款	資本的支出	項	建設改良費
---	-------	---	-------

事業名	公共下水道（污水）整備事業
-----	---------------

担当	建設部 下水道課
----	-------------

(単位：千円)

決算額	248,075	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金	23,568	基 本 目 標 7 未来につなげる環境にやさしいまちづくり
	地 方 債	212,000	
	そ の 他	12,404	政 策 方 針 4 人と自然にやさしい水環境の維持・改善
	一 般 財 源	103	

事業の目的	計画的に公共下水道を整備することにより、生活環境の向上と霞ヶ浦や河川等の公共用水域の水質保全を図ります。
-------	--

事業の概要

生活環境の向上と霞ヶ浦や河川等の公共用水域の水質保全を図るため、計画的に公共下水道の整備を進めました。

◎公共下水道認可区域内の公共下水道（污水）施設整備事業

事業期間：昭和41年度～令和10年度 全体計画面積 6,017.2ha 認可区域面積 4,490.7ha

・管渠整備工事 φ200mm L＝776.9m （うち補助分525.5m 単独分251.4m）

[令和4年度からの繰越分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
整備費	工事3件、委託2件	193,240

[令和5年度分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
整備費	工事3件	54,835

[令和6年度への繰越分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
整備費	工事2件、補償金等	140,930

◎下水道整備状況（令和6年3月31日現在）

整備区域面積 3,738.7ha

うち令和5年度整備面積 1.9ha

供用開始面積 3,738.7ha

人口普及率 88.3%

污水管渠布設工事



汚水管渠布設工事

事業の成果	田村第一、港、中村第三、右舨第二の各処理分区において整備工事を行い、生活環境の向上を図りました。
-------	--

款	資本的支出	項	建設改良費
---	-------	---	-------

事業名	公共下水道雨水排水路整備事業
-----	----------------

担当	建設部 下水道課
----	-------------

(単位：千円)

決算額		614,131	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金	214,464	基 本 目 標	4 全ての市民が安心して暮らせるまちづくり
	地 方 債	399,000		
	そ の 他		政 策 方 針	5 激甚化する水害に対応するまちづくり
	一 般 財 源	667		

事業の目的	市街化の進展に伴う降雨時の家屋・道路等の浸水被害（冠水）の解消を図ります。
-------	---------------------------------------

事業の概要

市街化の進展に伴う降雨時の家屋、道路等の浸水被害（冠水）の解消を図るため、雨水幹線の整備工事等を実施しました。

◎公共下水道認可区域内の公共下水道（雨水）施設整備事業

事業期間：昭和41年度～令和10年度

全体計画面積 6,017.2ha 認可区域面積 2,298.7ha

・神立菅谷雨水幹線整備事業

排水路施設整備工事 □3,400×2,100 L=103.5m

調整池整備工事（全体計画58,000㎡：コンクリート舗装工 1,150㎡）

[令和4年度からの繰越分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
整備費	工事4件、委託3件、補償金等	522,066

[令和5年度分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
整備費	工事1件、委託1件、補償金等	92,065

[令和6年度への繰越分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
整備費	工事3件、委託1件、補償金等	463,411





神立菅谷雨水幹線（調整池）整備状況

神立菅谷雨水幹線整備状況

事業の成果	大雨による浸水被害が減少し、市民の生活環境の向上に寄与しました。
-------	----------------------------------

令和5年度款別主要施策一覧表

令和5年度 款別主要施策一覧表

事業	頁
【総務費】	
水郷筑波サイクリング環境整備事業	38
TX延伸事業	39
公共施設等再編・再配置推進事業	40
RPA導入事業	41
地域公民館整備事業	42
国際交流推進事業	43
男女共同参画センター事業	44
女性のための寄り添い支援事業	45
防災意識普及啓発事業	46
ふるさと土浦応援寄附事業	47
【民生費】	
重層的支援体制整備事業	48
価格高騰重点支援給付金給付事業／ 物価高騰対応重点支援給付金給付事業(低所得者支援)／ 物価高騰対応重点支援給付金給付事業(重点支援事業)	49
手話普及事業	50
高齢者補聴器購入費助成事業	51
子ども・子育て支援事業計画策定事業	52
産前・産後家事ヘルパー派遣事業	53
出産・子育て応援事業	54
マタニティタクシー利用料金助成事業	55
低所得の子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親以外世帯分)支給事業／ 低所得の子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)支給事業／ 子ども食堂運営支援事業(重点支援事業)	56
公立保育所民間活力導入事業	58
認定こども園土浦幼稚園整備事業	59
【衛生費】	
各種予防接種事業(子宮頸がん予防接種)	60
医療機関支援事業(重点支援事業)	61
最終処分場維持管理事業	62
最終処分場埋立地基幹整備事業	63
【農林水産業費】	
土浦ブランドアッププロジェクト推進事業	64
日本一のれんこん産地推進事業	65
かんがい排水事業(木田余地区)	66
【商工費】	
土浦全国花火競技大会開催事業	67

事業	頁
【土木費】	
橋梁耐震対策・長寿命化修繕事業	68
道路新設改良事業	69
都市下水路整備事業／小規模排水路整備事業	70
地域公共交通確保維持改善事業	71
都市計画マスタープラン策定（見直し）事業／立地適正化計画策定（見直し）事業	72
スマートインターチェンジ整備事業	73
歴史的風致維持向上計画推進事業	74
地域公共交通関連事業者運行継続緊急支援事業（重点支援事業）	75
神立駅西口地区土地地区画整理事業	76
インターチェンジ周辺地区土地利用促進事業	77
田村沖宿線延伸道路整備事業	78
荒川沖木田余線（Ⅱ期）整備事業	79
木田余神立線街路事業（Ⅱ期）	80
都市公園等長寿命化事業	81
中心市街地活性化基本計画管理運営事業	82
まちなか定住促進支援事業	83
中心市街地まちなか再生事業	84
住生活基本計画策定及び公営住宅等長寿命化計画見直し事業	85
【消防費】	
救助資器材整備事業	86
救急資器材整備事業	87
常備消防車両更新事業	88
【教育費】	
部活動改革推進事業	89
上大津地区統合小学校整備事業	90
小学校／中学校長寿命化改良事業	91
家庭教育支援事業	93
コミュニティ・スクール導入事業	94
文化財整備・活用事業	95
特別展・企画展事業	96
博物館大規模改修事業	97
重要資料公開推進事業	98
川口運動公園整備事業	99
小学校口腔衛生推進事業	100
土浦市立学校給食センター管理運営事業	101
【特別会計】	
認知症施策推進事業	103
配水管施設整備事業／老朽管更新事業	104
公共下水道（污水）整備事業	105
公共下水道雨水排水路整備事業	106

主要施策の成果説明書は再生紙を使っています。